



6月園だより

第 630 号

成田保育園



今月の徳目

せいめいそんちょう

生命 尊重

自分の生命はもとより、あらゆる生物の生命を大切にし、生き物以外の物にも生命があることを教えていくことは、幼児の心の成長に基礎となる。生き物へいたわりの心を育てよう。
(徳目解説：日本仏教保育協会)

「いのちは大切だ、いのちを大切に」

これから大きく育とうとしている子どもに対して、このことをどうやって伝えていけばいいでしょうか。それには、親となった私自身が子どもを慈しみ接していく、まさに愛情こそが大切であると思います。とは言え、我が子だけ幸せであればいいという思いや、これこそが自分流の愛情だという頑なな思いは離れるべきです。

子どもは親の別け隔てない深い愛情に触れ、思いやりや優しさを自らの内に育てていきます。そして、自分だけでなく今と一緒に生きているすべての物のいのちの大切さを感じていけるものと思います。仏様は、一人一人を我が子のように愛おしい、他に代わるものがなく、大切な存在として私たちを見守って下さっています。人々の心の中にこそ育むべきことです。



● 今月の主な行事・お知らせ

- ・ 4日(土) 保育参観(うめ・もも組)
- ・ 6日(月) お習字(ゆり・きく組)
- ・ 8日(水) 保育懇談会(たんぽぽ組)
- ・ 生命尊重の日
- ・ 15日(水) 県民の日(弁当持参登園)
- ・ 17日(金) なりほミュージックデー
- ・ 19日(日) 父の日(当日行事ではありません)
- ・ 20日(月) ピッパラクラブ
- ・ 21日(火) 6月お誕生日会・水遊び開き
- ・ 23日(木) かけっこ教室(ちゅうりっぷ・ゆり・きく組)

◎コロナ禍緩和で行楽地は賑わいを取り戻しつつあります。そこで必ず嘆かれるのがゴミのポイ捨て放置です。する人は、自分の家の敷地にポイ捨てされても平気なのではないでしょうか。また、捨てられたゴミが海へ流れ込み生き物たちがそれを飲み込んで生命を失い、または害された生き物

が獲られて人の口に運ばれていく。一つ一つのいのちは全く別々で無関係のように見えても、実のところはつながっている。今月の徳目でもある「生命尊重」については、今を生きる私たちの重要な課題と言えるでしょう。